



ららゼミジモト塾で「屋台を作るぞ！」 - 公共の場所にコミュニティを生み出す仕組みづくり -

ららポートでは、「地域のサードプレイス・居場所を発見する場、まちづくりを考える場」として「ららゼミジモト塾」（全 10 回）を開催しています。第 6 回、7 回では、コミュニティを生み出す仕組みづくりとして「屋台」を参加者とともに作成します。

■ なぜ屋台？

当講座の目的のひとつに「ジモトで仲間、繋がりを作る」ということがあります。講義形式ばかりではそれが難しいため、「モノづくり」とおして参加者がお互いを知り合うことができないかと考えました。「屋台」は、イベント等で人が集る場として気軽に使える装置であり、それを市民が自らの手で作ることによってより愛情の持てるまちづくりのアイコンになるのではないかと当講座で実際に作成することにしました。



出来上がりイメージ

■ 屋台の使い道

ららゼミジモト塾のメンバーやららポート登録団体等がイベント会場で使用のほか、普段はららポート館内でディスプレイ什器として利用します。

■ 「屋台」に関する講座内容・講師（ららゼミジモト塾の第 6 回、7 回にあたります）

〔 共通テーマ 〕

～くらしとしごとの間の活動場所について考える～ 「場」が生まれる楽しい仕掛けをつくろう

◇ 第 6 回 9 月 10 日（日）15:00～17:00

（思考編） 講師 置田陽介さん「Attitude inc」代表。

生駒に拠点を構えブランディングを中心としたデザインディレクションを手がける。

◇ 第 7 回 9 月 24 日（日）13:00～17:00

（実践編） 講師 中津壮人さん「MERGETECTS」代表。

大坂九条にシェアアトリエを構え、工業デザイナーとして活動する。

■ ららゼミジモト塾

参加者は、すでに市民活動団体に所属して活動している人や、これから何かをやってみたいと思っている人など様々です。市からの依頼や要請ではなく、自らが地域課題を見つけて解決していくことを目標としており、講座ではその考えかたやヒントを学んでいます。これまで、ボランティアやプロボノ、働き方などについての講座を開催してきました。



第 4 回（7/30）の様子